

平成27年4月18日(土)～19日(日)

キッズキャンプ

活動報告書

木々からは若葉が芽を出し始め、足元を見ると黄色や白色などの野の花が咲き始めた、4月中旬。小学1年生～小学4年生を対象にした「キッズキャンプ」を開催しました。当日は、春の陽気に誘われるように元気な子どもたちが、ふれあいの村に集まって来ました。



初めて会う班のお友達、初めて会うカウンセラーと呼ばれる大学生の班つきのお兄さん、お姉さんとまずは自己紹介。まだまだ緊張した面持ちのみんな。その状況をそっと外から見守るご家族の方々にも緊張感があります。ドキドキ感が多目的ホールの部屋全体を包んでいました。



天気の良い日は、外遊びに限る！とばかりに、早速みんなで身体を動かして、レクリエーションを楽しみます。自然と笑い声が連鎖していき、いつの間にか、子どもたちの緊張はほぐれていきました。その後のお弁当タイムでは、班の中で会話がたくさん生まれていき、友達の輪が広がっていきました。



お昼ご飯を食べて、すっかりリラックスしたところで、1つ目のプログラム『木の名札づくり』です。キャンプ中は、自分で友達から呼ばれた名前を決めます。その名前のことを「キャンプネーム」と呼んでいます。すぐに決める子、熟考する子、中には「どんな名前が良いと思う？」と周りに聞いてくる子など様々でした。キャンプネームが決まったら、紙やすりで磨いた木に思い思いのデザインと、キャンプネームを書き込んでいきました。

みんな、自分の出来栄えに大満足でした。



続いてのプログラムは、『春を探す旅』。班ごとに歩いて、村近くの木藤農園さんを目指します。木藤農園さんでは、早速、春の野菜の収穫を行いました。「このにんじん、でっか〜い」とにんじんを引っっこ抜いたり、赤いラディッシュを見て、「キレイな色だね」と見せ合いっこしていました。その他には、ハチミツ絞り体験。遠心分離器を使って、ハチミツの絞り出しを行いました。みんなハチミツが出来る上がるのを興味津々。辺りには甘い香りが漂っていました。ハチミツをなめては、「美味い！」の一言。春の収穫と味覚を楽しく味わいました。



村に戻ってきてからは、ベッドメイキングの時間。スタッフから布団の敷き方を聞いたあとは、自分たちで挑戦します。布団を敷くことも子どもたちにとっては、楽しいひと時です。その後は、待ちに待った夕食！食堂で美味しく頂きました。



夜のプログラムは、『くせもの』。暗闇の森に隠された「宝物」を班の仲間と協力して探しに行きます。その道中には、宝物を守る「番人」が隠れており、見つからないように、姿勢を低くして、静かに進んで行くのがポイント。暗闇での体験で、みんなのドキドキワクワクが最高潮！大いに盛り上がりと同時に、班の仲間の絆がぐっと高まったひと時でした。



2日目の朝は、今回のキャンプのテーマソング「キャンプのおまじない」を踊り付きで歌うところから始まりました。みんな、朝から元気です。

食堂で朝食を食べた後は、使ったお部屋の掃除タイム。みんな協力して、キレイにしていきました。



最後のプログラムは、『アウトドアクッキング』。メニューは「もちもちヨモギ団子」と「旬の食材たっぷりカレー」です。春の陽気の中、みんなでワイワイ、料理作りを楽しみました。ドキドキしながら、包丁で野菜を切り、ワクワクしながら、薪で火を起こしました。子どもたちにとって、たくさんの「出来た！」に出会えました。「みんなで協力して作ったから、おいしいね」「お家のカレーよりウマ〜い」。出来上がった料理にもみんな大満足でした。



2日間、天候にも恵まれた中で思い思いの挑戦と、たくさんの笑顔に出会うことができました。またみんなと会えるのをスタッフ一同楽しみにしています！『キャンプは、天国〜♪♪』

【文：高橋（ひろし）】